

プリジスタ錠 600mg プリジスタナীব錠 800mg

【この薬は？】

販売名	プリジスタ錠 600mg PREZISTA Tablets	プリジスタナীব錠 800mg PREZISTANAIVE Tablets
一般名	ダルナビル エタノール付加物 Darunavir Ethanolate	
含有量 (1錠中)	ダルナビル エタノール 付加物 650.46mg (ダルナビルとして 600mg)	ダルナビル エタノール 付加物 867.28mg (ダルナビルとして 800mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<http://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（H I Vプロテアーゼ阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、H I Vプロテアーゼの働きを阻害することにより、感染性を持つウイルスの産生を阻害します。
- ・次の病気の人に処方されます。

H I V感染症

〔プリジスタ錠 600mg〕

抗H I V薬での治療経験があり、少なくとも1つのダルナビル耐性関連変異を持つH I V感染症の人に使用されます。

[プリジスタナイーブ錠 800mg]

抗H I V薬での治療経験がないH I V感染症の人、あるいはダルナビル耐性関連変異を持たない抗H I V薬での治療経験がある人に使用されます。

- ・この薬は、リトナビル製剤と他の抗H I V薬と併用されます。
- ・この薬を、体調がよくなったと自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり、効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にプリジスタ錠あるいはプリジスタナイーブ錠に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・次の薬を使用している人
トリアゾラム（ハルシオン）、ミダゾラム（ドルミカム）、ピモジド（オーラップ）、エルゴタミン（カフェルゴットなど）、ジヒドロエルゴタミン（ジヒデルゴット）、エルゴメトリン（エルゴメトリンマレイン酸塩）、メチルエルゴメトリン（メテルギンなど）、バルデナフィル（レビトラ）、ブロナンセリン（ロナセン）、シルデナフィル（レバチオ）、タダラフィル（アドシルカ）、アゼルニジピン（レザルタス配合錠、カルブロック）、アスナプレビル（スンベプラ、ジメンシー配合錠）、グラゾプレビル（グラジナ）、リバーロキサバン（イグザレルト）
- ・腎臓または肝臓に障害があり、コルヒチンを使用している人
- ・低出生体重児、新生児、乳児、3歳未満の幼児

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・肝臓に障害がある人
- ・血友病の人および著しく出血しやすい人
- ・高齢の人
- ・過去にスルホンアミド系薬剤に対し過敏な反応を経験したことがある人

○この薬には併用してはいけない薬や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

[プリジスタ錠 600mg]

一回量	プリジスタ錠 600mg1錠とリトナビル 100mg
飲む回数	1日2回 食事中または食直後

[プリジスタナイーブ錠 800mg]

一回量	プリジスタナイーブ錠 800mg1錠とリトナビル 100mg
飲む回数	1日1回 食事中または食直後

●**どのように飲むか？**

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●**飲み忘れた場合の対応**

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1回分を食事中または食直後に飲んでください。

ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●**多く使用した時（過量使用時）の対応**

異常を感じたら、ただちに受診してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
 - ・この薬はH I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、身体状況の変化はすべて医師に連絡してください。身体状況の変化があらわれた場合はすべて医師に報告してください。
 - ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかりません。
 - ・この薬を飲むことで、性的接触または血液を通じた他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
 - ・医師の指示を受けずにこの薬の飲む量を変えたり、飲むことを止めたりしないでください。
 - ・この薬は他の薬との飲み合わせなどに注意する必要があります。現在使っている薬をすべて医師に報告してください。また、新たに薬を使い始める場合はあらかじめ医師に相談してください。
- ・糖尿病の発症または悪化がおり、ケトアシドーシス（考えがまとまらない、手足のふるえ、深く大きい呼吸、判断力・意識の低下）になったという報告があります。
- ・中毒性表皮壊死融解症（TEN）、皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス-ジョンソン症候群）、多形紅斑、急性汎発性発疹性膿疱症があらわれることがあります。高熱、くちびるのただれ、のどの痛み、皮ふの広い範囲が赤くなるなどの症状があらわれた場合には、ただちに医師に連絡してください。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬によって体の脂肪の分布が変化し、顔や手足がやせたり、おなかのまわりが大きくなったりすることがあります。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり、悪化したりすることがあります。また、自己免疫疾患（甲状腺機能亢進症、多発性筋炎、ギラン・バレー症候群、ブドウ膜炎など）があらわれたりすることがあります。

- ・この薬はめまいがみられることがあるので、自動車の運転など危険を伴う作業をする場合は注意してください。
- ・妊娠または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳中の方は授乳を避けてください。
- ・セイヨウオトギリソウ（セント・ジョーンズ・ワート）含有食品はこの薬の効果を下げのおそれがありますので控えてください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？



特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
中毒性表皮壊死融解症（TEN） ちゅうどくせいひょうひえしゅうかいしょう（テン）	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱、食欲不振
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群） ひふねんまくがんしょうこうぐん	からだがだるい、発熱（高熱）、まぶたや眼の充血、結膜のただれ、ひどい口内炎、唇や口内のただれ、食欲不振、赤い発疹、中央にむくみをともなった赤い斑点、陰部の痛み
多形紅斑 たけいこうはん	関節の痛み、発熱、発疹やみずぶくれができる
急性汎発性発疹性膿疱症 きゅうせいはんぱつせいほうしんせいのうほうしょう	からだがだるい、高熱、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、食欲不振
肝機能障害 かんきのうしょうがい	からだがだるい、白目が黄色くなる、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、かゆみ、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる
黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿が褐色になる
急性腓炎 きゅうせいすいえん	発熱、吐き気、嘔吐（おうと）、急に激しくおなかが痛む、急に激しく腰や背中が痛む

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	からだがだるい、関節の痛み、全身の赤い斑点と破れやすい水ぶくれ（水疱）、発熱（高熱）
眼	まぶたや眼の充血、結膜のただれ、白目が黄色くなる
口や喉	ひどい口内炎、唇や口内のただれ、吐き気、嘔吐（おうと）
胸部	吐き気
腹部	食欲不振、吐き気、急に激しくおなかが痛む
背中	急に激しく腰や背中が痛む
手・足	関節の痛み
皮膚	中央にむくみをともなった赤い斑点、赤い発疹、発疹やみずぶくれができる、かゆみ、皮膚が黄色くなる、皮膚の広い範囲が赤くなる、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る
尿	尿の色が濃くなる、尿が褐色になる
その他	陰部の痛み

【この薬の形は？】

販売名	プリジスタ錠 600mg		プリジスタ ナীব錠 800mg	
形状	フィルム コーティング錠		フィルム コーティング錠	
	表面	裏面	表面	裏面
				
ボトル				
直径	長径：21.1mm 短径：10.5mm		長径：20mm 短径：10mm	
厚さ	7.2mm		7.5mm	
重さ	1.30g		1.14g	
色	だいだい色		暗赤色	
識別 コード	TMC		TMC	

【この薬に含まれているのは？】

販売名	プリジスタ錠 600mg	プリジスタナイーブ錠 800mg
有効成分	ダルナビル エタノール付加物	
添加物	結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、クロスポビドン、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、マクロゴール 4000、酸化チタン、タルク、食用黄色 5 号アルミニウムレーキ	結晶セルロース、軽質無水ケイ酸、クロスポビドン、ヒプロメロース、ステアリン酸マグネシウム、ポリビニルアルコール（部分けん化物）、マクロゴール 4000、三二酸化鉄、タルク、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：ヤンセンファーマ株式会社

(<http://www.janssen.com/japan>)

ヤンセンコールセンター

電話（フリーダイヤル）：0120-183-275

FAX：0120-275-831

受付時間：9時～17時40分（土、日、祝日・会社休日を除く）